～ ニューヨーク補習授業校だより ～

JWSNYの爽風

令和３年(2021)
７月３日発行

Breeze
第６号

校長 川崎淳一郎

W 校生徒会活動の紹介！　～卒業生の体験談　特集 No. ３～

【７月、七月（文月）】 7日頃 小暑～23日頃 大暑

・７月になりました！！「文月（ふみづき）」と言い、７月７日の七夕に詩歌を読んだり、書道の上達を祈って、短冊に歌や願い事などを書いたりする風習があるからというのが定説となっています。また、裁縫（さいほう）の上達を願う日でもあります。事務所でも、七夕飾りを作ってみました。事務所のスタッフが短冊に願い事を書きました。また、飾りを見てみると、手先が起用になるように吹き流しや投網（とあみ）があります。また、家族の長生きを願って折り鶴（おりづる）もあります。皆さんが目標にしていることが叶いますように・・！

☆天の川　☆織り姫（おりひめ）☆彦星（ひこぼし）

☆朝顔（あさがお）＜花言葉：愛情、固い絆（きずな）＞





＜7月４日独立記念日 ＝ 花火のイメージですね！＞





【W 校の生徒会活動】

・ＨＰの校長挨拶の中で、「みんなで生活する中で、一人一人の違いやよさを認め、心身共にバランスのよいグローバルな人材を育てる教育を行っております。特色として、中高等部では、生徒会活動の中で子どもたちが自主的に企画した活動を積極的に取り入れるなど、生徒の自己肯定感や自己有用感を育てることにも力を入れております。」と書かせていただきました。年間の限られた時間の中で先輩が後輩によりよい姿を見せて、みんなで協力して学校生活を楽しく、充実したものに作り上げ、盛り上げる取組が行われています。

◇生徒会会長：高等部２年井澤幸平くん、副会長：高等部２年入江仁悠くん、１年是永真凛さん、大西琳汰朗くん、書記：高等部2年コーエンセバスチャンくん、１年渡邉　慧くん、中山モイラさん、会計：高等部2年コーエンダリアスくん、１年荒木芽依さん，河野真理咲さん、１０名を中心に１６名のクラス委員で次のように２０２１年の年間計画（予定）で活動を進めています。

・５月⑴２０２１年度生徒会活動テーマの決定＝ 快刀乱麻

～「どんな困難にも鮮やかに解決して乗り越えていく！」という意味～

⑵皐月交流会：中高等部縦割りクイズ大会

・７月⑴Zoom 企画『スピリッツデー』①Color「青、ピンク、白」②七夕 に関するもの



⑵Zoom 企画『夏祭り』　→　生徒会主催ゲーム大会で互いの絆を深める。

・８月～１０月　『のみの市』委員会（企画・運営検討）、のみの市活動

・１１月　学校、生徒会主催『のみの市』、冬祭り企画会議、イヤーブック活動

・１２月　学校、生徒会主催『冬祭り』・１月～２月　送る会話し合い、練習

・　３月　『年度末生徒会交代式』、『送る会』、イヤーブック配付



【W 校卒業生の体験談 ②】

インターネットの普及により、今はスマートフォン一つで簡単に日本の文化を楽しめる便利な世の中になりました。漫画、小説、アニメ。様々な媒体により日本語力を高めることは今の時代、それほど難しいことではありません。事実、私も漫画や小説などを読みながら日本語を学んだといっても過言ではありません。ですが、小説や漫画、インターネットなどで学ぶ日本語はあくまで「伝わる日本語」であり正しい日本語ではない場合が最近多く見られます。それ故に日常的な会話や簡単な本などが理解できるものの、正しい日本語を自然に話し、それを理解する能力が発達していない日系アメリカ人の方が多いです。私もかつてそうでした。そんな私に正しい日本語を教え、日本の文化の意味を考えさせ、自分なりの日系アメリカ人としてのアイデンティティを確立できるようにしてくださったのが､このニューヨーク補習授業校です。補習校では様々な行事や生徒との交流を通して日本の文化や教育、コミュニケーションの仕方などを学びます。それに加え日本人であることが自分にとってどういう意味か考えさせられ、掛け替えのない友人も沢山できます。情報の正誤判断が難しい今の時代だからこそ、補習校で正しい日本語と文化を学び、正しく日本語を話し理解する土台を作ることが大切です。日本人としての自分を見つけるために、是非補習校に通ってはいかがでしょうか？

（2020 年度卒業、現在は University of Massachusetts, Amherst でｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽ学部を専攻）

補習校は本当に楽しい場所でした。時折、「土曜日に学校なんて嫌だな。」と思ったこともありましたが、今では本当に行ってよかったと思います。補習校に通っていたおかげで、今では漫画やアニメなど、日本ならではの文化を存分に堪能できているからです。補習校を最後まで通うように説得してくれた親に感謝しています。

（2020 年度卒業、今年現地の高校を卒業して秋からヴァンダービルト大学で violin performance と経済学部を専攻）

私の補習校生活の中で一番記憶に残っているのは、中高等部の生徒たちが参加する百人一首大会です。私が高等部に在籍していたとき、私の妹は中等部に通っていました。そのため、姉妹二人で百人一首大会に参加した年が二回ほどありました。私たち姉妹は負けず嫌いなため、お互いより好成績を収めるために家で百人一首を暗記したり練習したりしました。アメリカ生活の中で百人一首を覚える機会なんてほとんどないのにも関わらず、姉妹揃って百人一首の決まり字をほとんど覚えたことはとても誇らしいです。結果、私たち姉妹は二年連続百人一首大会で好成績を収めることができ、両親を驚かすことができたのは、いい思い出です。

補習校を卒業してから四年、大学生生活も、もうすぐ終わりを迎えるというのに、私には補習校で過ごした学校生活がつい最近のことのように思えます。振り返ってみれば、補習校で過ごした十二年間は、いろいろな出来事が積み重なったとても充実した日々でした。

私は、十二年間補習校に通う中で、色んな経験をたくさんし、成長することができたと思います。たくさんの友達と頼もしい先生方に巡り会え、たくさんのいい思い出を作ることができたのは補習校に通っていたおかげです。